

エクソソーム治療



エクソソームとは

世界的に注目されているエクソソームは、老化または損傷した細胞の修復に有効的と言われ、肌のエイジングケア以外にも、ひじや関節痛、AGAやがん治療などにも効果が期待されている物質です。

当グループのエクソソームは、歯髄由来の高品質の再生因子を使用しており、一般的なエクソソームに比べ含有量が10倍以上と大変高濃度となっております。

治療時間やお悩みの内容により注射点滴はもちろんのこと、ニードルRF、ダーマペンや水光注射、エレクトロポレーションに入れて施術することが可能です。



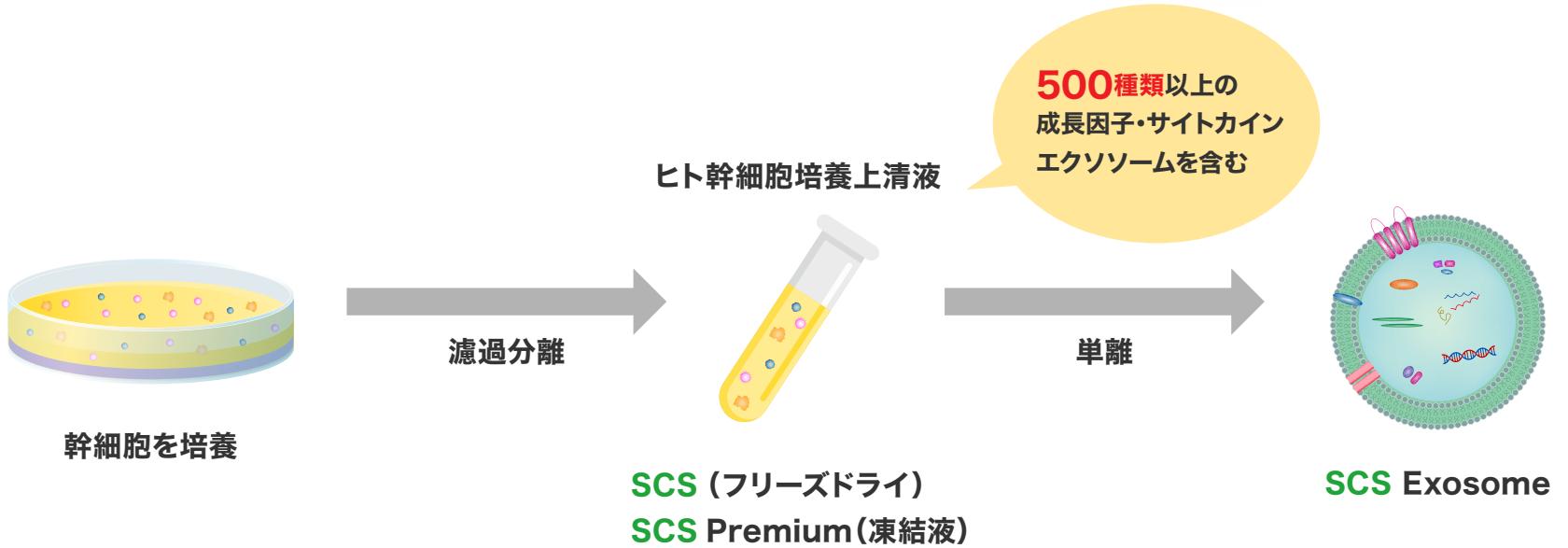
こんなお悩みの方にオススメ

- 痛みのないエイジングケア治療をしたい
- 皮膚や組織の修復や再生を促したい

- 免疫機能を改善したい
- 注目度の高い施術を受けたい



ヒト幹細胞培養上清液“SCS”、“SCS Premium”、エクソソーム” SCS Exosome



SCS (フリーズドライ)

500種類以上の成長因子、サイトカインを含むフリーズドライを行うことで粉末状にした製品です。フリーズドライすることでエクソソームが破壊される可能性があるためエクソソームは含有していないとしております。

SCS Premium (凍結液)

500種類以上の成長因子、サイトカイン、エクソソームをすべて含む製品です。成長因子、サイトカインのみでなく、エクソソームによる治癒効果も期待されます。エクソソームは500億個/ml以上

SCS Exosome

エクソソームのみを抽出した製品で、主に研究を目的とした製品です。



試験成績書

製品コード :
 INCI名(製品名) : ヒト脂肪由来幹細胞順化培養液
 Lot番号 :
 製造年月日 :
 判定結果 : 合格
 判定日 :

試験項目	規格	試験方法	試験結果
1. 性状	白色～淡黄色の粉末	目視評価	適
2. 外観検査	容器に破損や汚れがない。 異物混入がない。	目視検査	適
3. pH	実測値(懸濁液100%)	ガラス電極法	7.8
4. 生菌試験		メンブレンフィルター法	
細菌	実測値(cfu/10mL)	懸濁液100%	0
真菌	実測値(cfu/10mL)	懸濁液100%	0
5. サイトカイン濃度測定		ELISA法	
①VEGF	実測値(pg/mL)		1160
②HGF	実測値(pg/mL)		15243
③EGF	実測値(pg/mL)		4024

- ①ヒト脂肪間質細胞順化培養液エキス2000mlをフリーズドライして約20gのFD粉末が得られます。
- ②荷姿：10g +1、-0g/プラスチックボトル
- ③保存条件：4°C、社交保存。
- ④開封後は速やかにご使用ください。

SCS、SCS_{Premium} は超高濃度の成長因子・サイトカインを含んでいます。
VEGF,HGFは 1000pg/ml 以上の濃度を保証しております。



SCS培地（毒性成分排除）

- AOF培地の利点に加え重金属などの毒物を排除。
- AOF培地は一般にも複数種類市販されているがSCS培地は完全オリジナルで
非常に安全性が高い。

安全性

高い

培地成分

GHSに登録されている危険成分
および化粧品原料として使用禁止
成分を完全に排除。

※GHS：化学物質の危険・有害性を
表し分類する世界共通のルール

動物由来精製品排除

動物由来精製品
血清由来のアルブミンなど

血清
血清画分

AOF培地（動物由来成分排除）

- ヒト型のリコンビナントタンパク質を利用。 • 性能にロット間格差が少ない。
- 病原体感染リスクを最大限排除。 • 重金属などの毒物が含まれている。

無血清培地(多くの市販培地)

- 血清由来物を含有するものがある。
- ロット間格差が大きい。
- 現在、完全無血清では培養できず
血清を添加している(TSE/BSEリスク)。 • 重金属などの毒物が含有されている。

血清培地(基礎培地)

- 異種抗原に対する免疫反応の危険性。
- TSE/BSEリスク。
- 重金属などの毒物が含有されている。
- ロット間格差が大きい。
- 病原体の混入による感染症。



第一種再生医療等

ヒトに未実施など高リスク
(ES細胞、iPS細胞等)

医療機関

申請

高度な審査能力と第三者性

特定認定再生医療等委員会

90日の提供制限期間

審査

厚生労働大臣へ
計画の提出※2厚生労働大臣
計画の変更命令厚生科学審議会
意見

提供開始

第二再生医療等

現在実施中など中リスク
(体性幹細胞等)

医療機関

申請

特定認定再生医療等委員会

厚生労働大臣へ
計画の提出※2

審査

提供開始

第三再生医療等

リスクの低いもの
体細胞を加工等

医療機関

申請

認定再生医療等委員会

厚生労働大臣へ
計画の提出※2

審査

提供開始

再生医療等安全性確保法により、間葉系幹細胞治療については第二種の届け出が必要ですが、幹細胞上清液につきましては現在は法令がございません。弊社は、上記法令を遵守できる安全性で上清液を製造しております。

製品の安全性



ドナースクリーニング項目

- ・HIV(抗原抗体法・CLIA法)
- ・HCV 抗体(CLEIA法)
- ・HBs 抗原(CLIA法)
- ・HBe 抗原(CLIA法)
- ・HTLV-I 抗体(CLEIA法)
- ・梅毒(RPR法)
- ・梅毒(TPHA法)
- ・単純ヘルペス(CF法)
- ・マイコプラズマ(PA法)
- ・パルボウイルスB19(IgM抗体)

品質管理試験項目

- ・マイコプラズマ
- ・エンドトキシン
- ・無菌試験
- ・ヒト免疫不全ウイルス1型(HIV1)
- ・ヒト免疫不全ウイルス2型(HIV2)
- ・ヒトT細胞白血病ウイルス1型(HTLV2)
- ・ヒトT細胞白血病ウイルス2型(HTLV2)
- ・C型肝炎ウイルス(HCV)
- ・B型肝炎ウイルス(HBV)
- ・サイトメガロウイルス(CMV)
- ・ヒトパルボウイルスB19(B19)

SCSはclass1000、class10000で管理されたクリーンルーム環境内で製造しております。また、幹細胞治療で行っている品質検査と同様の手順を踏み、第三者機関に検査を依頼することでより厳しい基準で安全性の確認を行っております。



Regenerative Medicine

再生医療では、アルツハイマー型認知症、糖尿病、脳梗塞、脳血管障害、慢性疼痛、肝障害、アトピー性皮膚炎、美容(肌再生)、AGA(薄毛)、ED(勃起不全)などの疾患のほか、スポーツ障害、肘や膝、股関節などの関節症の治療に期待されています。

